



吉川市立南中学校教育プラン

学校教育目標

「よりよく生きる」

目指す生徒像

- ・自ら学ぶ生徒
- ・自らあいさつをかわす生徒
- ・自ら汗を流す生徒

令和4年度の重点目標

- (1) 「わかった・できた」の実感で生徒が自信を深める支援の充実 ← **令和4年度最重要課題**
- (2) 生活科・総合的な学習の南中学校区スタンダードを確立した小中一貫教育の充実
- (3) 居がい・やりがいで生徒が自信を持てる学年・学級経営の充実
- (4) 道徳科を充実させ、命の大切さを考える教育と心の教育の推進
- (5) 充実した特別支援教育と通級指導教室があることを南中の強みとする教育の推進

目指す教師像

- 「わかった・できた」のその先へ、問いを立てる力を育成する教師・・・探究活動の充実により、日常生活に課題意識を持たせる。総合的な学習の時間の内容を小中一貫教育の視点で改善し、問いを立てる力を育成する。
- 変化に気づき、行動できる教師・・・予兆・前兆・兆候を見逃さず、行動・実践をためらわない！何もしないことが最悪の選択となることもある！報連相は、生徒指導の基本！まずは、報告と初期対応の丁寧さが重大事態にならないための秘訣。
- 生徒、保護者の声に耳を傾け、心に寄り添い、新たな不登校を生まない教師・・・不登校は3日が勝負！1日だけの休みが3回あったら注意！休み明けの欠席が3回あったら要注意！ひと月の欠席が3日あったら不登校を疑う！不登校生徒への支援の複線化。担任だけでなく、副担任や、さわやか相談員、S C等による家庭訪問や放課後登校等を実施し、孤独化を防ぐ。二人の養護教諭の力を上手に借りて、学校の求心力を高める。
- 組織の一員としての自覚をもった心身ともに健康な教師・・・相互依存ではなく、相互補完できる組織たれ！不祥事を許さず、不祥事を絶対に起こさない教師集団！不祥事について、しっかりと知識を有した教職員たれ！
- 日本一のほめ上手をめざす教師・・・正解や達成結果ではなく、学びの過程を大切にほめられる教師！心から生徒が大好きで、心から生徒をほめる教師

令和4年度 最重点目標「わかった・できた」の実感で生徒が自信を深める「わが南中学校」

- 積極的に生徒をほめる。心からほめることで生徒を伸ばす学校・・・ファシリテーター（促進者）としての教師の支援と協働的な学びにおける相互評価（良いところ探し）の実施。
- ※魔法の言葉・・・「なるほど！」「よく考えたな。」「素晴らしいね。」正解や結果を称賛するのではなく、過程をほめる。
- できなかったことができるようになる学校・・・個に応じた躓き支援
- できたという実感を自信とする学校・・・積極的な賞賛と顕彰
- 自信を武器に地域・社会に積極的に発信する学校・・・通信・HPの充実
- 自校を誇りに思い自慢できる学校・・・良きこだわりを大切に継続

目指す学校像

わかった・できたを実感！成長を感じる南中学校
～成長の実感を自信から誇りへ～

地域にとって、誇りの「わが南中学校」

- 学校運営協議会の充実した学校・・・社会に開かれた教育課程の推進
- 地域で積極的にボランティア活動する学校・・・福祉施設への慰問、地域ボランティアへの積極的な参加
- 他校にない特色があり、地域にとって誇りとなる学校・・・総合的な学習の充実とその成果の発信
- 地域の教育力の積極的な活用・・・進路指導・キャリア教育、家庭教育学級の充実

吉川市教育大綱

家族を 郷土を愛し 志を立て
凜として生きてゆく

ステップ4

誇りを伝統に

ステップ3

自信を誇りに

保護者にとって、自慢の「わが南中学校」

- 生徒の活躍を積極的に発信する学校・・・通信・HPの充実
- 他校にない活躍があり、保護者にとっても自慢の学校・・・部活動・各種コンクールの充実
- 安心・安全で誰からも信頼される学校・・・安全点検の徹底・何事にも誠実な対応
- 保護者との双方向の連携・・・PTA活動・学校応援団の充実

ステップ1 令和3年度からの継続的な取組

「わかった」「できた」を実感させる学習指導の充実

- 校内研修組織を抜本的に見直し（授業デザイン部・ICT活用部を新設）、協働的な研修を推進することで授業力をレベルアップする。
- 授業力向上2WEEKS（相互授業参観期間）を新設し、互いに見せ合うことで、学校全体の授業力をボトムアップする。
- 校長による研修・師範授業の積極的な実施により、実践的な授業改革を推進する。
- 小中一貫教育の推進により、義務教育9か年の学びの連続性を意識した授業改革を推進する。

ステップ2

実感を自信に

ステップ1

成長を実感し

Teachers Level Up

Student Level Up